

事務局説明資料

福井県の建設分野の現状と課題



今回共有させていただきたいこと

- ・ 現状と課題
- ・ 生産性向上の目標
- ・ 下部組織の概要
- ・ 今後のスケジュール

建設分野における現状と課題

1 建設分野全体の担い手不足

・建設産業の就業者数の減少

人口減少、高齢化などの問題により就業者数が減少

・防災対応人員（土木部職員）の減少

土木部職員 約 2割 減少（過去15年）

土木（総合）職の定員割れが発生、若手職員の離職が増加

（令和6年度：19名募集で採用内定者14名（R7.2.1時点））

2 頻発化・激甚化する災害の対応

・令和2年豪雪や令和4年8月大雨などの災害が頻発。

災害関係の業務が**増加**

3 インフラ施設増加に伴うメンテナンスへの対応

・管理するインフラ施設は**増加**の一途でありメンテナンスに係る業務の**増加**

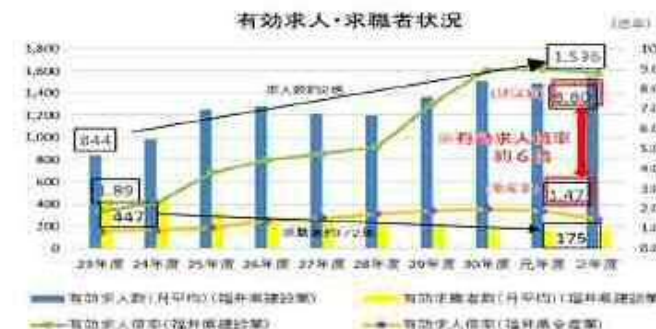


図 有効求人倍率の比較



図 災害関係費と土木部職員の推移（H20～R4）

表 インフラ整備状況（H20～R5）

	道路管理延長	トンネル数	ダム数
H20	2,183 km	128箇所	6箇所
：	↓ 42km増	↓ 20箇所増	↓ 2箇所増
R5	2,225km	148箇所	8箇所

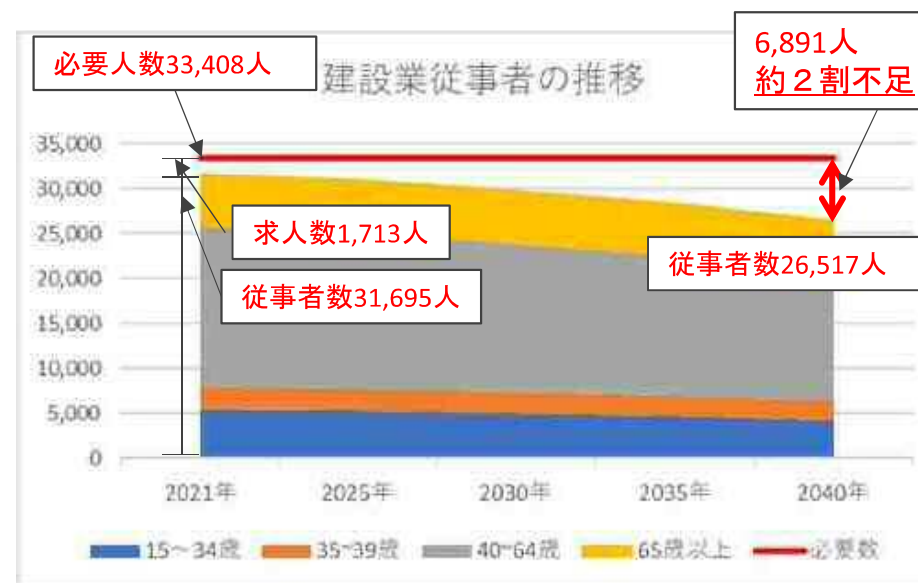
① 建設分野の対応人数は減少し、対応業務量は増加

建設分野における現状と課題

1 超高齢化社会の到来

2030年には日本の人口の約3割が65歳以上となり、深刻な人材不足が懸念される。

福井県の建設分野においても、建設業従事者は**2040年には約20%（7千人）不足**すると予測され、大きな混乱が想定。また職員についても、同程度の不足が想定される。この労働力の対策が必要となる



2 デジタルファースト社会の到来

AI、5G、ロボット化、クラウド化など、デジタルの技術革新は加速度的な進展が予測される。

また2029年からは、プログラミング教育を必修したデジタルリテラシーの高い学生が社会に進出する。

一方建設分野においては、DXに関して2極化が進んでいる。



(出典) 総務省「令和5年度版情報通信白書」

② 将来的に20%の担い手が不足、デジタル化は加速度的に進展

生産性向上の目標

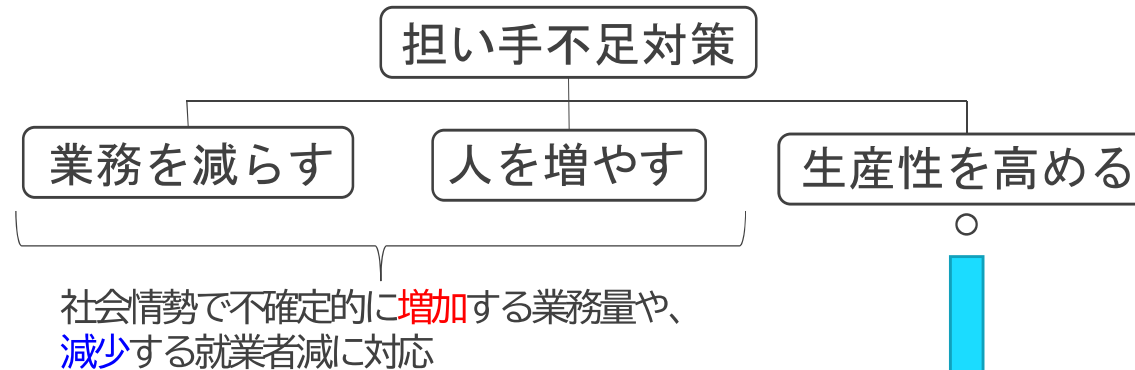
○現状と課題のまとめ

- ① 建設分野の対応する人数は**減少**し、対応する業務量は**増加**
- ② 産官ともに2040年には約20%の担い手不足



○方針

担い手不足対策をツリーで表すと



確定的な人口減の対策は、計画的な建設DXによる生産性の向上

生産性向上の目標

○生産性が向上すれば、
担い手不足対策以外の効果も発揮

- 持続的なインフラの維持管理
- 安全性向上による死亡事故低下
- 野外作業のリモート化



I-Construction 2.0で実現を目指す社会(イメージ) 国交省



新4Kの実現（給料増加・休暇増加・希望増加・カッコいい）

「建設分野で働く県民」の幸福度を日本一位に！



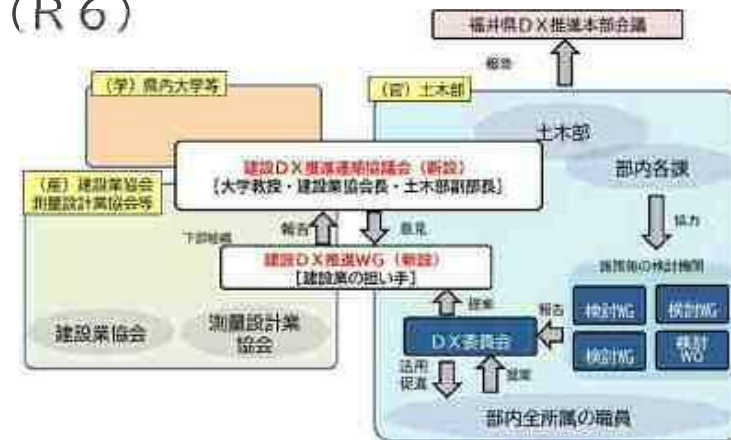
「安心のふくい」の足元を盤石にして、防災・治安先進県へ！



産学官協働による行動計画

1. 「福井県建設DX推進連絡協議会」の設立（R6）

- ・建設DXに関しての連携促進や計画審議の場
- ・下部組織として若手同士のWG設置し、産官のDXに関する情報共有・意見交換を実施
- ・計画策定後は、産官が計画したロードマップに基づき、進捗や成果を確認
- ・協議会の開催は公表し進行状況を認知



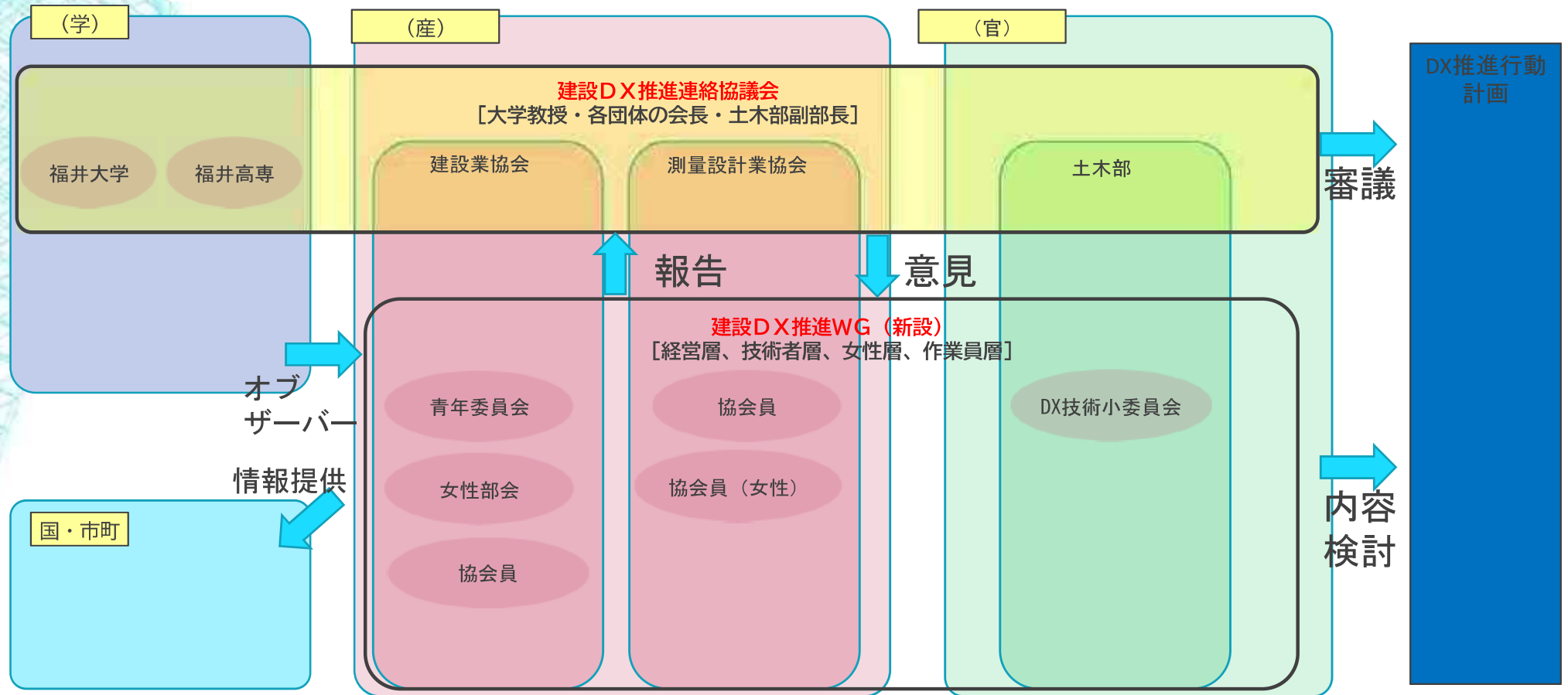
2. 「福井県建設DX推進行動計画」の策定（R7）

- ・産官の担い手不足の対策を計画的に実施するために策定
- ・職員（官）や建設業者等（産）が協働で実施する**DXの目標**を記載
- ・5年後の福井県の姿が具体的にイメージできるよう、具体的な成果指標（KPI）等を記載
- ・DX施策毎にロードマップを記載し、今後の進捗管理にも利用
- ・計画はを公表することで、県民や事業者へも必要性や取組の認知度を向上

3. 実行行程表

	R6	R7	R8～
実施内容	・協議会の設立 ・業務分析	・WGの実施 ・行動計画の策定	・施策実施 ・成果確認

産学官による協議会について



WGでは次の事項について、意見聴取と解決案を検討

- ICT推進の方向性（対象範囲、補助施策）
- 遠隔臨場の拡大（低軌道衛星の活用）
- CIMの拡大、台帳電子化、オンライン化 等

下部組織の体制案

所属	選定する会員
建設業協会	青年委員会員
建設業協会	女性部会員
建設業協会	協会員
測量設計業協会	協会員
測量設計業協会	協会員(女性)
福井県	D X 小委員会 委員
オブザーバー	大学関係
事務局	土木管理課

今後のスケジュール

